

1 本校のスクール・ミッション

確かな専門的知識と技術・技能を習得させる工業高校として、地域等との連携やものづくり等の実践的な学びの推進により、社会の変化に対応する技術力や、確かな勤労観、職業観を育む活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活動し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

2 本校の学校経営ビジョン

校訓「自律・友愛・勤労・合理性」の理念のもとに、次のような学校づくりを目指す。

「つながろう、明日へ！若きく東工の匠たち ～挑戦する魂の継承～」

- あらゆる教育活動において、基礎・基本を重視して学力の向上を図るとともに、個に応じた教育を推進し、生徒の多様な進路希望の実現を図る学校。
- ものづくりなど実践的学習活動を通じて生徒自ら学び、自ら考える態度を育み、創造的で豊かな人間性を培う教育を実践する学校
- 人権尊重の精神に立ち、規範意識を高め、社会に貢献できる能力・態度を養い、人格の発達を支援する学校
- 保護者や地域から信頼され、愛される学校

3 育成したい生徒像（アドミッションポリシー）

- ・産業界や地域社会の発展に貢献できる生徒
- ・ものづくりを通じて他者と協働し、主体的に考え、実行できる生徒
- ・自ら進路決定をし、自分らしい生き方を実現していく生徒
- ・グローバルな視点を持ち、多様性を尊重し、持続可能な社会づくりに貢献できる生徒

4 学校経営目標

今年度の取組目標「よさを認め、一人一人がいきいきと学ぶ学校づくり」

I【学習活動の充実】

- ①日々の授業を大切にし、授業に取り組む姿勢や学習習慣を定着させる。
- ②ICTを効果的に活用した「わかる授業」を実践する。
- ③SDGsやPBL、グローバルの視点から、主体的・対話的で深い学びにつなげる。
- ④資格取得・検定や各種コンテスト等への取組を推進し、生徒の達成感・成就感を醸成する。

II【ものづくり教育】

- ①安心・安全な学習環境を整備し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）運動を徹底する。
- ②先端技術等を取り入れたものづくりの教育を推進する。
- ③スーパーエンパイロメントハイスクール事業（アクアポニックス）を推進する。
- ④実習・課題研究等の内容を工夫し、専門性を高め、魅力づくりを推進する。

III【豊かな人間性の育成】

- ①挨拶、身だしなみ、言葉遣い等、社会人として求められる礼儀を身につけさせる。
- ②部活動・生徒会活動への積極的な参加を通して心身の育成や豊かな人間性を育てる。
- ③生徒の自治活動を推進し、自主性や他を認め思いやる心を育成する。
- ④職業人としての誇りと規範意識を持ち、粘り強く取り組む人間力を養う。

IV【キャリア教育】

- ①キャリア教育・職場体験教育（企業見学・インターンシップ・社会人講師等）を推進する。
- ②進学や就職試験に向けた全学的な協力体制を推進し、進路決定率100%の実現を目指す。
- ③全学年を通じた体系的なキャリア教育の充実を図り、自らの進路決定を支援する。
- ④進学・就職試験に対応できる力（SPI検査・作文・面接等）や技能（資格取得等）を身につけさせる。

V【地域連携による教育】

- ①中学校訪問や出前授業等の充実を図り、学校情報を積極的に発信する。
- ②学校説明会や見学会、体験入学などを積極的に行い、中学生や保護者に本校の魅力を伝える。
- ③ものづくりの技術を活用した地域貢献活動を通じて、生徒の自己有用感を醸成する。
- ④発表活動の機会を設定し、プレゼンテーション能力を育成するとともに、地域に積極的に公開する。

VI【校内組織の活性化と人材育成】

- ①業務の効率化を推進し、教職員が心身共に健康で、明るく、活力に満ちた職場環境づくりを目指す。
- ②学科、学年団、各分掌の連携を強化し、全校一丸となった指導体制で教育活動にあたる。
- ③OJTによる人材育成・授業改善・技術の伝承を推進する。
- ④生徒指導と教育相談が一体となった指導の在り方について研修を行い、生徒の支援体制を構築する。

本校の学校経営ビジョン

校訓 「自律・友愛・勤労・合理性」

- 1 自主的活動能力を養い、自律の態度を養う。
- 2 友愛の精神をそだて、協力の態度を養う。
- 3 心身共に健全で、正しい勤労感を持つこと。
- 4 科学的に考察をし、合理的な処理をすること。

学校経営目標



目標達成のための三つの柱

ものづくり教育の充実

- ・基礎学力の定着と安全教育の徹底
- ・専門科が連携したものづくり
- ・教科横断的な学習の推進
- ・専門的知識・技術・技能の習得

部活動・生徒会活動の推進

- ・部活動への積極的参加
- ・生徒主体の活動の推進
- ・生徒を認め、磨き、高める指導
- ・規範意識の醸成

生徒への支援のあり方

- ・担任・学年・専門科の連携
- ・個に応じた支援体制
- ・生徒指導・教育相談の連携
- ・生徒への接し方、声かけ
- ・保護者との連携